

障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会における  
今後の議論の論点整理

障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会においては、例えば以下のような論点について、これまでの本検討会の議論を踏まえ、今後の検討課題をまとめてはどうか。

1. 障害者の生涯学習推進を担う人材(コーディネーター等)が身につけるべき専門性、具体的な役割、人材の育成・配置の具体的指針等について。

- ・障害者の生涯学習推進を担うコーディネーター人材像の整理・提案（必ずしも障害に関する専門知識がなくても、地域の人材をつなげることができるコーディネーター、学校教育との連続性や一体性を確保する方策や人材、教員OB OGの活用など）
- ・地方公共団体職員の現職研修や社会教育主事講習（社会教育士養成）等における障害者の生涯学習の位置づけ、プログラムの実施状況の把握
- ・民間団体や大学等における取組を推進する人材の育成方途の検討
- ・ボランティア等の学習・育成や社会モデルにもとづく障害理解の促進に係る福祉教育の課題整理
- ・人材育成に関する成果指標等の検討

2. 「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業等の成果を踏まえた障害者の生涯学習プログラムの事例紹介と支援を行う際の視点・方法等の明示・発信について。

- ・「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」事業におけるアンケート結果のとりまとめ・分析
- ・障害者の生涯学習推進ガイドブック（事例集）の編集・発行

3. 上記の取組を踏まえた障害者の生涯学習の加速的な推進に関する課題や論点の整理について。

- ・障害者の生涯学習の推進施策開始5年間の中間的総括と今後の課題や論点の整理
- ・本施策が達成すべき目標に向けた具体的な道すじ、戦略の検討